

平成28年度 岡山県立玉島高等学校 第1学年 学年だより

玉高伝説、創いましょう

—玉高を使い込んでいただくために—

第1号 2016.5.17 発行 1年学年主任



授業が始まって、 1ヶ月がたちました。



初夏らしい爽やかな日が続いております。皆様お変わりありませんでしょうか？ 活動しやすい時節ということで、学校内も生徒たちの笑顔と声で活気づいていて、私たち教員も大いに元気をもらっているところです。

さて、1年団も普通授業が始まって1ヶ月。お子様の様子はいかがですか？ どの教科もスローペースで入っておりますので、まだまだ余裕の表情だとは思いますが、中間考査が終わった頃からは、進学校の授業は中学校とは全然違うのだということを実感させられることとなります。生徒たちの9割近くが国公立大学への進学を希望している以上、授業は予習復習を前提としたペースの速い展開となりますが、それは全国どこの進学校でも共通です。そのペースに身体を慣らすのにかなりの努力が必要となるため、全国の高校1年生の誰もがショックを受けるのです。時にはご家庭で、「高校の勉強は大変過ぎて付いていく自信が無い」と弱音を吐いたり、「どうせ自分には無理だ」と投げやりになったりといった姿を見せるかもしれませんが、進学校の生徒なら誰もが乗り越えなければならない壁です。玉高の先輩たちも皆乗り越えた壁ですから、今年の1年生も絶対大丈夫。子どもたちの不安を十分に受け入れた上で、「進学校の生徒は誰でもそんな風を感じるものだよ、そのうち慣れるから大丈夫」と励ましてあげてください。

4月23日（土）の合同保護者会 ご参加ありがとうございました

3月の新入生招集日・制服引き渡し・入学式と、お忙しい中何度も学校へお越しただいていたにもかかわらず、予定を繰り合わせて、161名（58%）もの保護

者の方々にお集まりいただき、感謝いたしております。お招きする側の私たち教員団は、果たしてわざわざ来て下さった保護者の方々のニーズに合った話が出来たのか、私たちの思いを伝えられたのかと、常に不安な思いを抱えています。多くの方が終了後のアンケートを書いてくださり、「保護者として出来ることをしていきたい」「学校と連携を取って頑張ろうと思う」等の前向きな温かいコメントをたくさんいただき、一つ一つのコメントをかみしめながら、改めて私たちがお預かりしているのは、それぞれのご家庭の大切なお子様なのだと感じました。私個人としては、多数の方が書いて下さった「参加して良かったです。次回も必ず参加します。」というコメントにホッと、次回からもこのように感じていただけるように頑張らなくてはと、身が引き締まっております。

アンケートに書かれていた玉高への質問事項について、お答えいたします。

Q 理数科内での少人数授業はありますか？

1年生では英語表現で1クラスを2つのグループに分け、それぞれ1人ずつの教員が指導します。2年生以降は、数学・英語で普通科と一緒にクラスを越えてグループをつくり、内容別グループ授業を実施します。また、理数科特有の1年生での科学と工学や課題研究では生徒4人に対して一人の教員という割合で指導しています。

Q 選択授業やクラス編成についてももう少し具体的にうかがいたい。

普通科については2年生より、人文系と理系に分かれます。なお普通科・理数科ともに地理歴史科においては、世界史B・日本史B・地理B、理科においては、物理と化学などについて、コースによって多少異なりますが、授業を選択できるようになっています。詳しくは教育課程表をご覧ください。クラス編成については選択者の人数等によって変わってくるので、決まったルールはありません。なお、選択科目だけでクラスが決まる訳ではないので、自分の興味関心や適性にあった科目を選択するよう指導しています。

Q 考査の素点とはテストの点数ですか？ 評定は素点+平常点でしょうか？

評定は素点より下がることはないのでしょうか？

通知票で各定期考査ごとに、素点=テストの点を御連絡いたします。年度末にはテストの点の他に授業の様子・提出物等を含め、観点別に評価し、それをもとに5段階の評定を決定します。従って、いくらテストの点（素点）が良くても、他の部分を疎かにすると評定は下がることもあり得ます。

Q 年間の予定を頂きたいです。

先日お配りしました。また、ホームページにも掲載しております。PTA 総会の資料の中にもございます。

Q オリエンテーションの説明で、子どもはすごく焦りを感じ、毎日不安になっています。もう少し、リラックスできたらと思うときもあり…。一日でも、勉強時間が短いとやはりダメなのでしょうか？

そんなことはありません。焦らず、まずは自分のできる範囲で精一杯取り組んで下さい。疲れたときには休息が必要です。休日の使い方など工夫して、1週間のトータルでとらえていただければ良いと思います。

Q 上の子なので大学の情報があまり分かりません。学校の方でも大学の資料などを配付していただけるとありがたいです。

テレメール等で大学の資料を取り寄せることができますので、興味のある大学についてご利用なさってください。

Q 大学及び学部の選び方について講演していただきたい。

Q 実際の大学の講師の先生の話を知りたい。
近いうちにそのような機会を設けることを計画しています。

Q たくさんの大学がある中で、国公立大学だけでも、特長などが分かると選択の参考になるかと思えます。

進路学習等を通して大学・学部について勉強する機会を設けます。また、夏を中心に行われるオープンキャンパスに参加すると、各大学について理解が深まると思えます。

Q 専門学校も良い学校がありますか？ そのような御指導は？
専門学校についても、生徒の希望に応じて指導していきます。

Q 進路希望調査に関しては、大学についてなど生徒へ十分説明をしていただいた上で調査していただければと思いました。十分調べるには、日数も資料も少ないように感じました。

入学当初どのような志望を持っているかを調べるために、また、入学当初から将来の進路について考える機会を設けるという意図で、例年1年生の4月に実施させていただいております。

Q HP に進路実績をアップしていただきたい。H 2 7 が分からなかったため、正直高校受験の際に迷った。

H25 ~ H27 の進路実績はアップしています (H27 というのは H28 年 3 月卒業の生徒のことです)。

Q 部活のスケジュールが分かったら助かります。

できるだけ早く連絡をするようにいたします。長期休業中の練習計画は全体をまとめて一覧表にしています。それ以外の期間、個々の部につきましては大まかな部分は連絡してあるはずですが、練習試合など日程調整が難しいものもあり連絡が遅くなることもあるようです。

Q 熊本の震災が起こって気になったのですが、子どもたちが学校にいるときに津波の警報が出た場合、どこに避難するのでしょうか？

生徒が学校にいるときに地震が起きた場合は、まずグラウンドに避難をします。その後、津波警報が出ている場合は、(i) (ii) のようになります。

(i) 地震で校舎の安全確認ができない場合、国民宿舎「良寛荘」へ避難。

(ii) 校舎の安全確認がとれた場合、校舎の3・4階に避難。

避難場所や避難経路などは次回の避難訓練や防災の授業において生徒に指導・連絡を

行います。災害時の保護者への引き渡しは以下の表のようになります。

地震	震度 5 弱	原則学校に待機させる。
	震度 5 強以上	原則学校に待機させる。 対策本部で協議の上、下校、または保護者に引き渡す。
津波	津波警報 大津波警報	解除されるまで下校させない。 保護者への引き渡しも行わない。
その他 (二次災害)	河川氾濫、建物倒壊による 通学路の危険	引き渡し、下校の安全確保が困難な場合は、校長判断により、生徒を学校に待機させる。

また、今年度から、非常時に備えて、生徒一人一人に「パーソナル防災キット」を持たせています。

★ 玉高ニュース ★

4月26日(火)球技大会

お天気に恵まれた中、玉島の森で思いっきり楽しんできました。



1年生のソフトボール(男子)は、1位理数科 B チーム・2位6組・3位1組と2組、バレーボール(女子)は、1位6組 A チーム・2位3組 A チーム・3位4組 B チームと理数科という結果でした。

何より、多くの友達や先生と話をすることが出来た、貴重な一日ではなかったかと思えます。



5月6日(金)生徒総会

生徒が主体となり、粛々と議事が進行していました。1年生が学校の中心として活躍する日のために、しっかり力を付けていって欲しいです。